

坂本小学校だより

平成29年 4月19日

第1号 文責 上森

平成29年度が始まりました。

平成29年度がスタートして2週間余りが過ぎました。「着任のあいさつ」でお知らせしましたように、事務室の〇〇〇主事が加わり、職員12名でのスタートになりました。児童も、6名の卒業生に対して8名の新入生ということで、総勢36名の坂本っ子が元気よく学校生活を送っているところです。

4月の主な行事について、その時々の様子を紹介してみます。

新任式・始業式

希望に満ちた元気のよい子ども達の朝のあいさつから始まりました。

新任式では、新しく来られた〇〇先生を興味深げに見つめながらも、本当にうれしそうでした。子ども達も



先生方と一緒に頑張っていこうという気持ちになったようです。6年生の〇〇〇〇さんが児童を代表して歓迎のあいさつを述べてくれました。

始業式では、まず、1年間の目標を3年生の〇〇〇〇さんと6年生の〇〇〇〇君が発表してくれました。二人とも、前学年の反省に基づいた、よく考えられた目標でした。



私からは、今年も坂本小学校の「あ・し・た」を合い言葉に、「明るく・真剣に・たくましく頑張っていきましょう。」と子ども達に呼びかけたところです。子ども達の中には、個人の目標にも、あ・し・たを意識した目標を立てる子どもが何人かいました。また、本年度は「なぜ？」という問いかけを先生方から多く聞くことになると話しました。自分の考えや言動に理由（根拠）をもつことが大切であるからです。

入学式

8名の新入生が9年間の義務教育をスタートさせました。自立の基礎を養う義務教育の中で、特に小学校6年間は重要な時期です。そのことを教職員も保護者も十分に理解し、これからお互いに力を合わせて子ども達を育てていくことを確認できた入学式だったと思います。



校長式辞では、あいさつ（おはようございます。こんにちは。こんばんは。おやすみなさい。）お礼（ありがとうございます。）お詫び（ごめんなさい。）が言える一年生になってほしいことを伝えました。この三つは、社会における基本中の基本だからです。私たち大人であっても、この三つをきちんとすることで、人間関係は保たれるといっても過言ではありません。

その後、児童を代表して6年生7名が歓迎の言葉を述べてくれました。かわいい新1年生に参加者も子ども達も目を細めていました。

教育振興会総会・歓迎会

来賓として、〇〇〇〇公民館長の出席をいただき、平成29年度の教育振興会総会が滞りなく終わりました。その中で新役員の紹介が行われ、振興会活動も新体制でのスタートとなりました。新三役は、〇〇〇〇会長、〇〇〇〇副会長、〇〇〇〇母親会長の方々です。〇〇〇〇前会長をはじめ、旧役員の方々には1年間本当にご苦勞様でした。ありがとうございました。

歓迎会では、いつも本当に温かくお迎えいただき、有り難い限りです。母親会の皆様の準備も大変だったことでしょう。大きな笑い声と子育てに関する真剣な話など有意義な歓迎会になったと感謝しています。

各相談員のご紹介

例年、セクハラ・パワハラ相談員やいじめ・体罰相談員の指名と紹介をすることになっています。次の方々が相談員になりま

したので、気兼ねなく相談いただきたいと思います。なお、相談内容に関する秘密は堅く守ることが義務付けられていますので安心してご相談ください。

※ セクハラ・パワハラ相談員

校長、教頭、〇〇（事務主事）、〇〇〇〇〇（男性教諭）〇〇〇〇（女性教諭）〇〇会長（保護者代表）、〇〇〇〇（保護者代表）

※ いじめ・体罰相談員

教頭、〇〇会長（保護者代表）

学校関係者評価委員のご紹介

本年度の学校関係者評価委員の皆様です。年間を通して、学校や子ども達、保護者の様子を見ていただき、アドバイスをいただきます。

〇〇 〇〇 様（坂本小校区）

〇〇 〇〇 様（坂本小校区）

〇〇 〇〇 様（鞍岡小校区）

言語環境を整えましょう。

大人に対して丁寧な言葉遣いができないのは教えられていないからです。雑な言葉遣いを許すことで、子どもは大人を同等、もしかすると下に見るようになります。この言葉の乱れが、やがて大人への横柄な態度や暴言につながる場合があります。

丁寧な言葉遣いは、低学年から教えることが大切です。そして、すべての教師が家庭と足並みをそろえて指導すべきです。現に、学校において言語環境を整備することは、学習指導要領（文部科学省が告示する教育内容）の総則にうたわれています。

大人や教師に権威があるからではありません。これから、子どもたちが生きていく社会（職場、部活動など）で目上の人に対して適切な言葉遣いができることは当たり前前に求められることであるし、そのことが周囲との軋轢（あつれき）や衝突を軽減させ、人間関係をよりよく保つことにつながるからです。

教師や大人に権威があるから正しい言葉遣いをさせるというより、教師や大人を通して（練習台にして）言葉遣いを覚えさせるという考え方で積極的に指導したいものです。

実際に、本校に入学した1年生は、入学して3・4日は、先生に対しても友達みたいな言葉遣いをしていました。しかし、担

任の先生の指導、職員の一貫した指導で、今ではちゃんとした言葉遣いができるようになっていきます。「先生、今日は掃除があるんですか?」「これは、どこに返せばいいですか?」等々、素晴らしい成長です。

子どもたちの健闘を称えます。

◇宮崎日日新聞「かりぼし往来」掲載

4年 〇〇 〇〇 君

◇宮日こども新聞「宮日文芸」掲載

2年 〇〇 〇〇 さん

旧6年 〇〇 〇〇 さん

教育に関する名言

**あまりに多くのことを教えることなかれ。
しかし、教えるべきことは徹底的に教えるべし**

アルフレッド・ノース・ホワイトヘッド（イギリスの哲学者・数学者）

※家庭教育学級の際にも紹介した名言です。あれやこれや口うるさく多くのことを教えても、子どもはまさしく馬耳東風。それよりも、これぞと思われることを繰り返し徹底的に教える方がよいということです。

おまけ 頭の体操

問題1

25階建てのビルがあります。エレベーターで1階から5階まで昇るのに5秒かかりました。これと同じ速さで1階から25階まで昇るのに何秒かかるでしょう。（簡単だと思って、わなにはまらないように!）

答え _____ 秒

問題2 ※浅野中1990年入試問題

次の□には同じ漢字が入ります。その漢字を答えてください。

① □分、□立、□果、□人、□功

答え _____

② 管□、推□、整□、心□、無□

答え _____

※ 本年度も頭の体操シリーズをお届けします。答えがお分かりになられたら、学校まで連絡ください。

坂本小学校の合言葉

あ あかるく
し しんけんに
た たくましく

